

# 高木仁三郎市民科学基金 助成研究 完了報告書

提出日： 2009年5月25日

## 1. 氏名・グループ名及び研究テーマ

氏名(グループ名)	長野県廃棄物問題白書刊行委員会 代表 関口鉄夫
連絡先・所属など	〒389-2101 長野県中野市大字豊津2063-33 gomipochi@coast.ocn.ne.jp
調査研究・研修のテーマ	これまでの、廃棄物問題をめぐる各地の住民運動の成果をまとめ、調査法や運動の進め方を具体的な事例に沿って、報告書を作る。

## 2. 調査研究・研修結果の概要

### 白書の概要(全五章)

ごみ処理の現場で起きていること

なぜ、廃棄物処理施設をめぐる紛争が絶えないのか

現代の廃棄物の特徴とごみ処理技術

ごみ処理施設で何が起きているのか

・長野県上山田町環境と健康に関する学術調査への取り組み・滋賀県栗東市の最終処分場問題ほか

何かが変わって

生活環境の悪化と健康被害

住民運動の理念

・各地の住民運動から

地域の合意をつくる

違和感を感じて

・愛媛県今治市のスラグ撤去の取り組み・長野県飯山市の汚泥の不法投棄事件の顛末ほか

事業計画と生活環境影響調査を読もう

行政との交渉と地域への働きかけ

終わりなき住民運動

被害調べる(現象から原因へ)

調停と裁判

・長野県伊那市の焼却施設操業禁止の裁判・千葉県海上町最終処分場の裁判など  
解決のために

・東京都町田市の最終処分場廃止のための委員会ほか

住民のできる環境調査

・廃棄物を観る・水系調査・降下物の調査・生活環境と健康被害調査など

### 3. 調査研究・研修の経過

2008年5月～8月

- ・ 編集委員会、出版社との打ち合わせ

9月～12月

- ・ 図版の整理・写真の補充と各地から寄せられた原稿の整理

2009年1月～4月

- ・ 構成の変更と一部現行の書き直し。
- ・ この間、筑北村での編集委員会。

今後の予定

5月30日 拡大編集委員会（最終稿）

6月1日 出版社と発行までの打ち合わせ（最終）

年 月	活動経過（中間報告以降）
2008.10～11月	現行の加筆・構成の変更
12.8	編集委員会
12.20	編集委員会
1.14	出版社との打ち合わせ
1.20	編集委員会（再変更）
2.13	編集委員会
2.28	編集委員会（出版の日程の延期等）
3.25	編集委員会
4.4	編集委員会（一部書き直しと出版日程の再延期）

### 4. 調査研究・研修の成果

廃棄物処理施設の計画と操業をめぐる地域の紛争は絶えません。

本書は、各地の住民運動の取り組みを通して、廃棄物行政のあり方や廃棄物処理施設の引き起こす生活環境や健康への影響をルポし、解決への道を探ります。

民間では違法な操業の継続・経営破綻による施設の放棄などが目立ち、ストック公害化する施設が増えています。市町村や広域連合の公共の施設では過大施設をもてあまし財政負担が目立つようになりました。閉鎖しても廃止できない最終処分場、操業が終了しても放置されている焼却施設も少なくありません。生活環境や健康への影響は民間・公共の区別はなく、焼却施設・破碎施設・最終処分場など予期していなかった被害が顕在化しています。

市民に押し付けるだけのリサイクルは破綻し、循環型社会形成は実態の伴わない掛け声だけのように思えます。そこで、「発生抑制」の正確な定義について提案し、本来あるべき施策に役立つことを願っています。

住民が高度な機材を使用せずに、施設の環境への影響を探る具体的な実践例も紹介しています。

本書が全国各地の廃棄物処理施設問題に苦しむ人たちにとって、問題の解決の一助となることを願っています。

## 5．対外的な発表実績

- ・ ありません。

## 6．今後の展望

本書は具体的な事例に沿って問題点を解明しています。今月中にはすべての原稿が整いますが、出版社の校正段階でも十分な時間をとって、正確な記述を心がけたいと思っています。訴訟等の可能性もありますのですべて根拠となる資料も整えているところです。

予定を大幅に超過していますが、余裕を見て、最悪でも8月お盆過ぎに出版する予定です。

よろしく申し上げます。

## 高木基金へのご意見

<事務局補足：会計報告未提出>

## 7. 完了報告 英文概要

<b>Recipient Name</b>	The institute of the Industrial Waste Problems of Nagano Prefecture Chief Inститutor Tetsuo Sekiguchi.
<b>Belonging / Contact Address</b> < 公表可能な問い合わせ先・ メールアドレスなど >	gomipochi@coast.ocn.ne.jp
<b>Theme of Research/Training</b>	On Editing and Publishing of A White Paper “The Industrial Waste Problems in Nagano Prefecture”
<b>Name of the Organization Providing Training</b> < 研修の該当者のみ >	

< 以下の空欄に前記 2 . に対応する内容を英文で記載して下さい。 >

**8. 高木基金へのご意見** < 高木基金の助成についてのご要望・ご感想など、  
忌憚のないご意見をお聞かせ下さい。 >

< 以上です。ご協力ありがとうございました。 >